

将来の進路等に関するアンケート調査報告書
(短期大学・大学・大学院)

目次

調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査の方法.....	1
3 回収結果.....	1
4 本調査報告書の基本的な事項	1
アンケート結果.....	2

調査の概要

1 調査の目的

人口の現状と将来の展望を提示する「米沢市人口ビジョン」の改訂に向けて、次代を担う短期大学・大学・大学院に通う学生の意識や現状を把握するため。

2 調査の方法

(1) 調査対象

市内の短期大学(2年生)・大学(4年生)・大学院(博士課程前期2年生)に通学している方

(2) 調査方法

学校を通じての配布・回収、Webでの回答

(3) 調査時期

令和5年7月

3 回収結果

	短期大学	大学	大学院	答えたくない ・未回答	合計
(1) 配布数	300	1,000			1,300
(2) 有効回収数	36	249	148	3	436
内Web	36	159	103		298
(3) 有効回収率	12.0%	39.7%			33.5%

4 本調査報告書の基本的な事項

(1) 数値等の基本的な取扱いについて

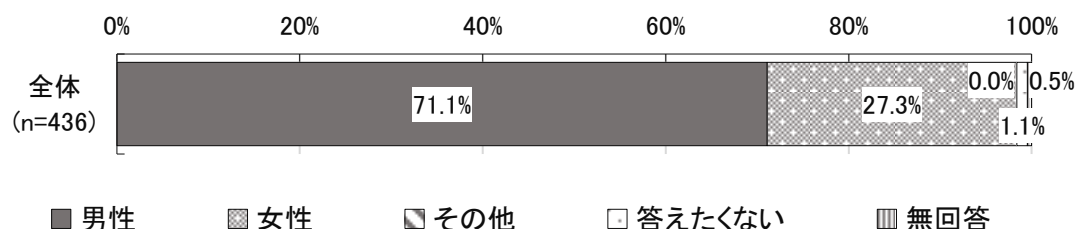
- ・比率は全て百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。したがって、合計が100%を上下する場合があります。
- ・基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。(回答者総数又は該当者数)
- ・複数回答については、ひとりの回答者が2つ以上の回答を出してもよい設問であり、したがって、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
- ・文中、グラフ中の設問カテゴリー(選択肢)の文言は、作図の都合上、簡略化する場合があります。
- ・グラフ内の0値は、凡例の設問カテゴリー(選択肢)の後ろに“(0)”を追加し省略する場合があります。
- ・本文中の“「」”内は[アンケートの回答項目]、“『』”内は[アンケートの回答項目を複数合わせて表示したもの]となります。

アンケート結果

問Ⅰ あなたご自身のことについて

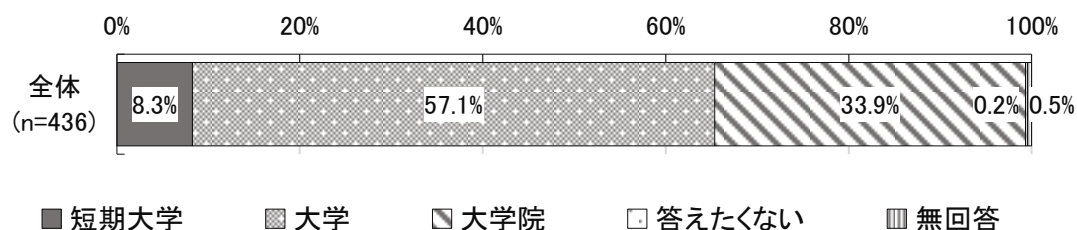
(1) あなたの性別

性別については、「男性」が71.1%で、「女性」(27.3%)と男性の方が多くなっています。



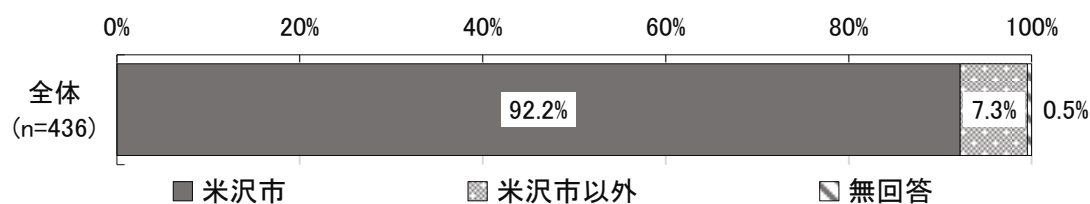
(2) あなたの通学先

通学先については、「大学」が57.1%、「大学院」が33.9%、「短期大学」が8.3%の順となっています。



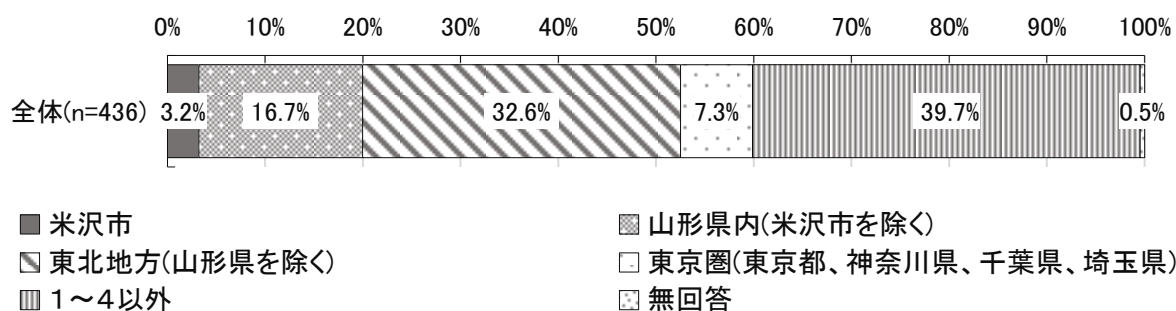
(3) あなたの居住地

居住地については、「米沢市」が92.2%で、「米沢市以外」が7.3%となっています。



(4) あなたの出身地

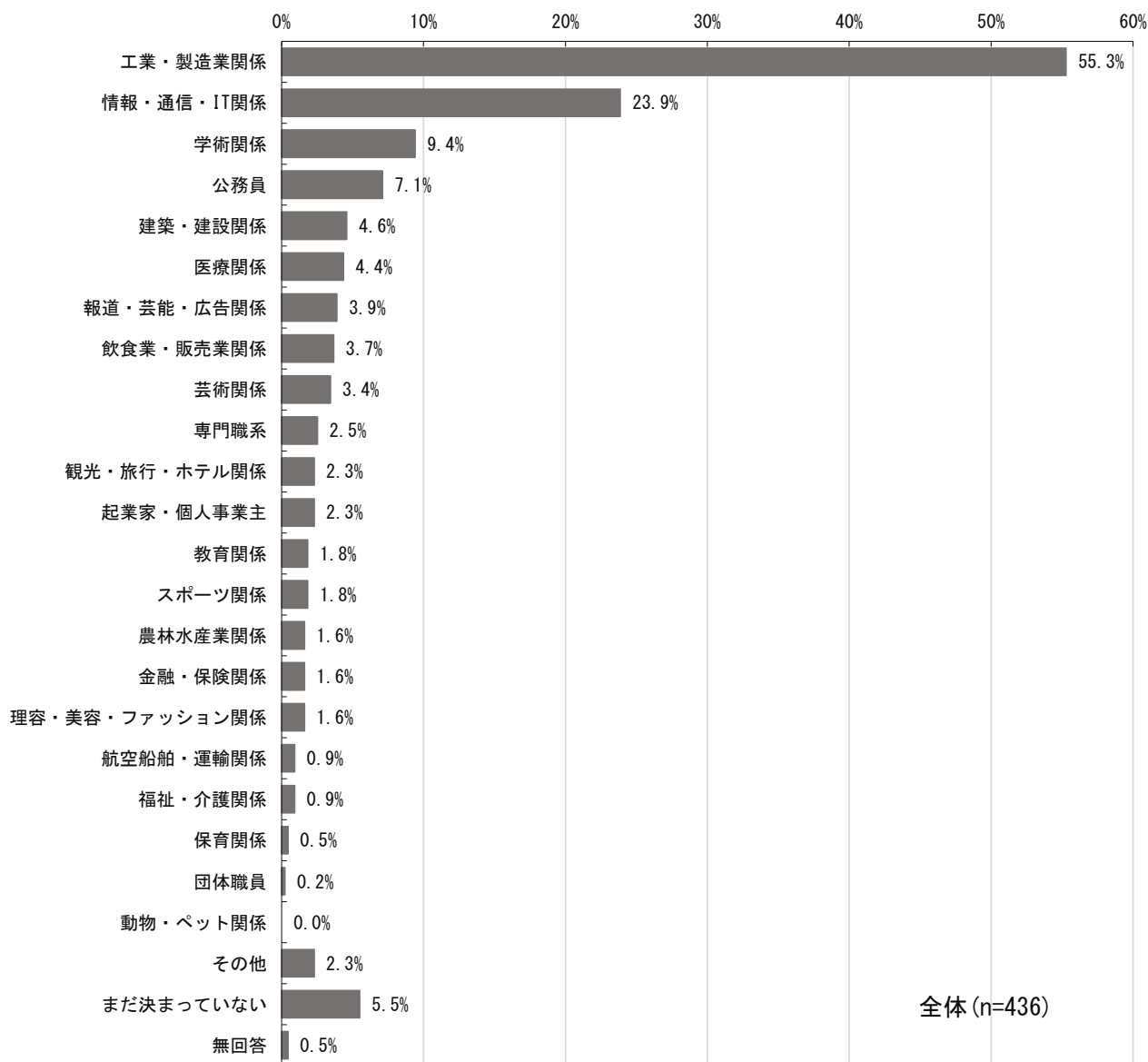
出身地については、『東北地方・東京圏以外』が39.7%と最も高く、次いで、「東北地方(山形県を除く)」(32.6%)、「山形県内(米沢市を除く)」(16.7%)、「東京圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)」(7.3%)、「米沢市」(3.2%)の順となっています。



問2

あなたは、将来どのような仕事をしてみたいですか。（2つまで○）

将来の仕事については、「工業・製造業関係」が 55.3%と最も高く、次いで、「情報・通信・IT 関係」（23.9%）、「学術関係」（9.4%）となっています。



<属性による分析>

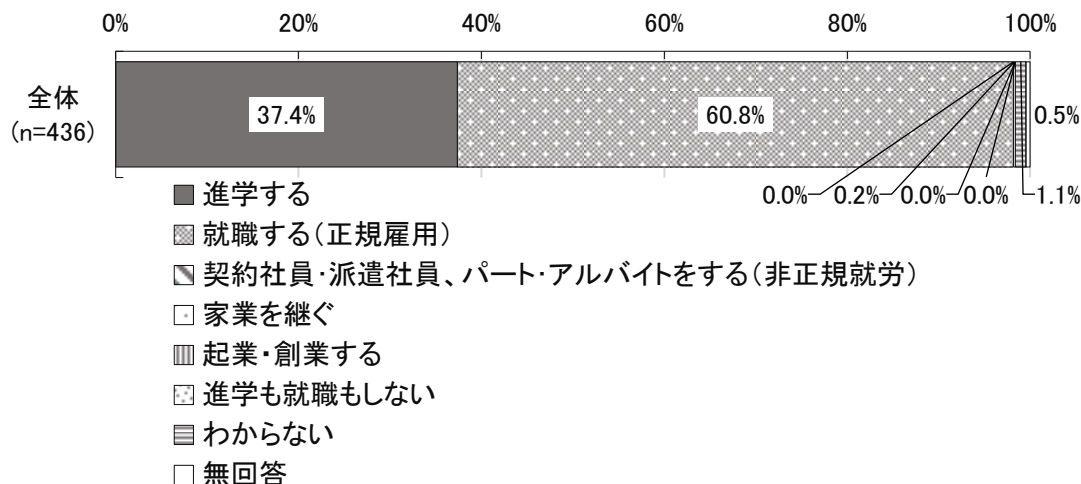
通学先別でみると、短期大学では「公務員（警察官、消防士、自衛官、市職員など）」が第 1 位となっています。

		第1位	第2位	第3位
全体(n=436)		工業・製造業関係 55.3%	情報・通信・IT 関係 23.9%	学術関係 9.4%
性別	男性(n=310)	工業・製造業関係 64.5%	情報・通信・IT 関係 27.7%	学術関係 10.3%
	女性(n=119)	工業・製造業関係 34.5%	情報・通信・IT 関係 14.3%	公務員 10.9%
通学先	短期大学(n=36)	公務員 22.2%	まだ決まっていない／情報・通信・IT 関係 19.4%	
	大学(n=249)	工業・製造業関係 52.6%	情報・通信・IT 関係 27.3%	学術関係 9.2%
	大学院(n=148)	工業・製造業関係 73.6%	情報・通信・IT 関係 19.6%	学術関係 11.5%
居住地	米沢市(n=402)	工業・製造業関係 58.0%	情報・通信・IT 関係 24.9%	学術関係 10.0%
	米沢市以外(n=32)	工業・製造業関係 25.0%	まだ決まっていない 15.6%	飲食業・販売業関係／ 情報・通信・IT 関係／ 報道・芸能・広告関係 12.5%

問3

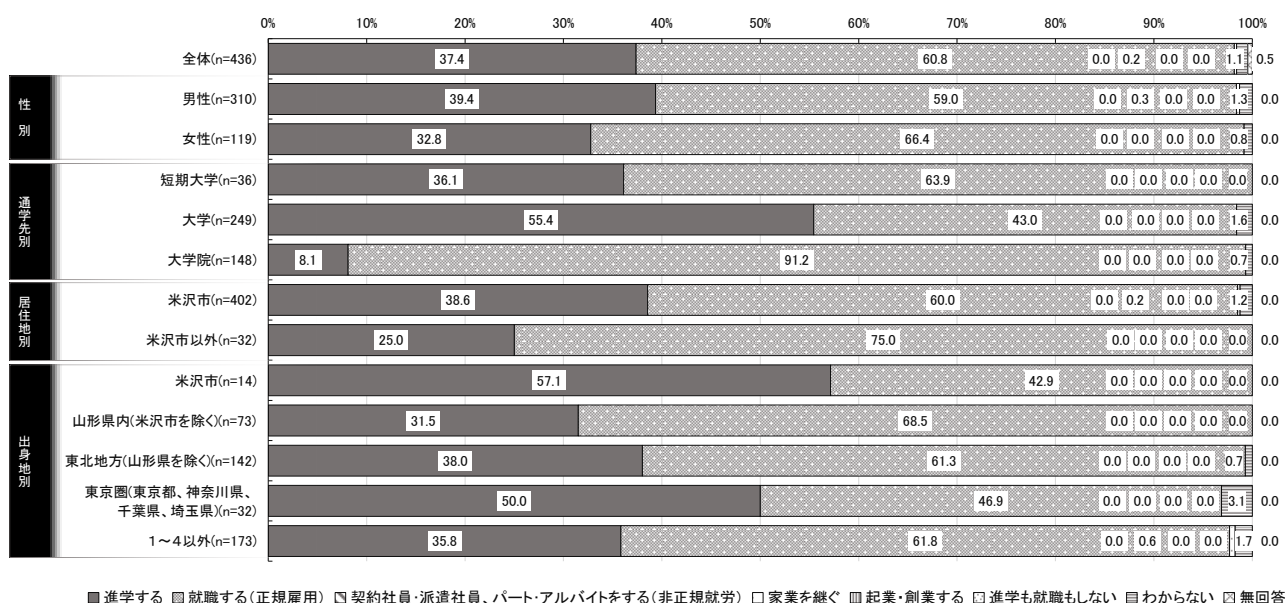
卒業後はどのような進路を考えていますか。

進路については、「就職する（正規雇用）」が60.8%と最も高く、次いで、「進学する」（37.4%）、「家業を継ぐ」（0.2%）となっています。



<属性による分析>

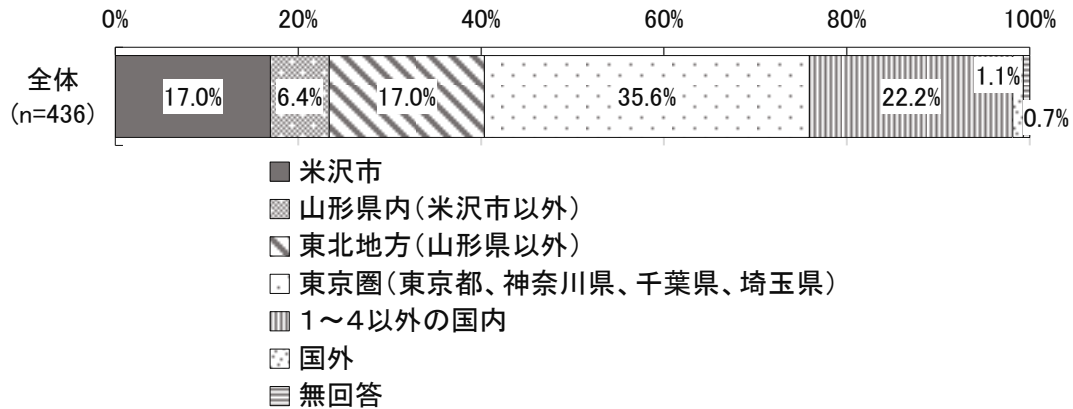
通学先別でみると、大学では「進学する」が最も高くなっています。



問4-1

卒業後の進路の場所としてどこを希望していますか。

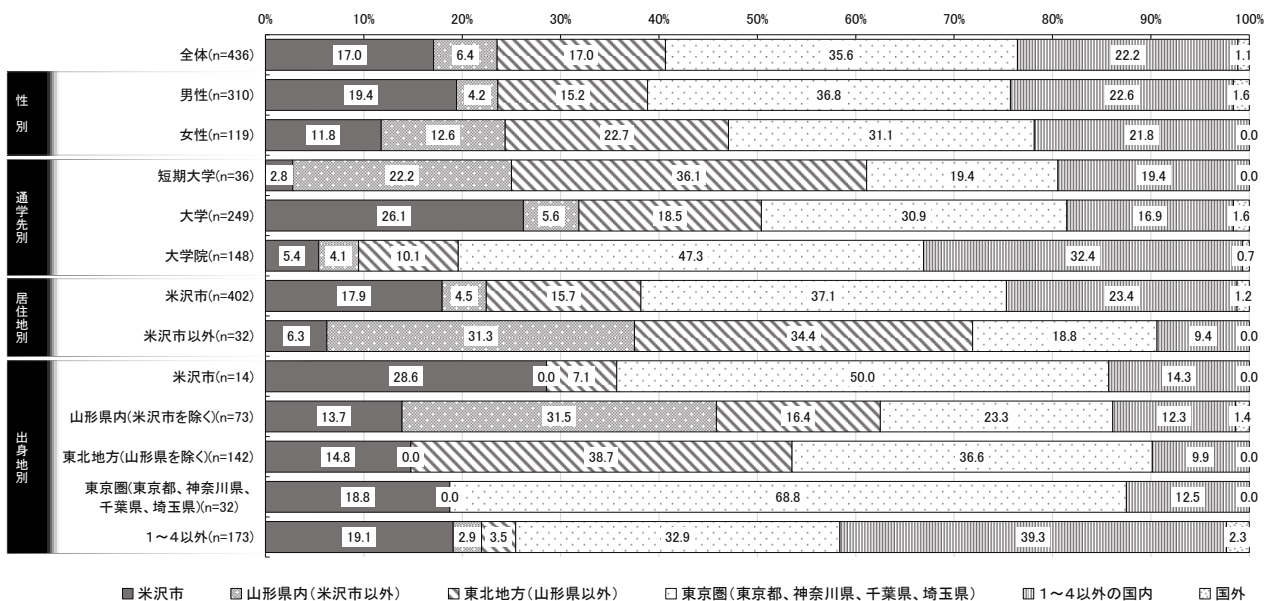
進路の場所については、「東京圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）」が 35.6%と最も高く、次いで、「1～4以外の国内」（22.2%）、「米沢市」（17.0%）、「東北地方（山形県以外）」（17.0%）、「山形県内（米沢市以外）」（6.4%）、「国外」（1.1%）の順となっています。



<属性による分析>

性別でみると、女性よりも男性が「米沢市」を進路として選択する割合が高い一方で、女性は男性よりも「東北地方（山形県以外）」を選択する割合が高くなっています。

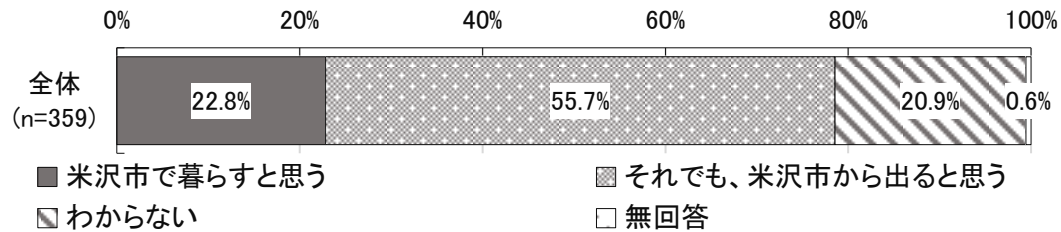
通学先別でみると、大学生の約 1/4 が「米沢市」を選択していますが、それ以外の学生は『米沢市以外』を選択する割合が高くなっています。



問4-2

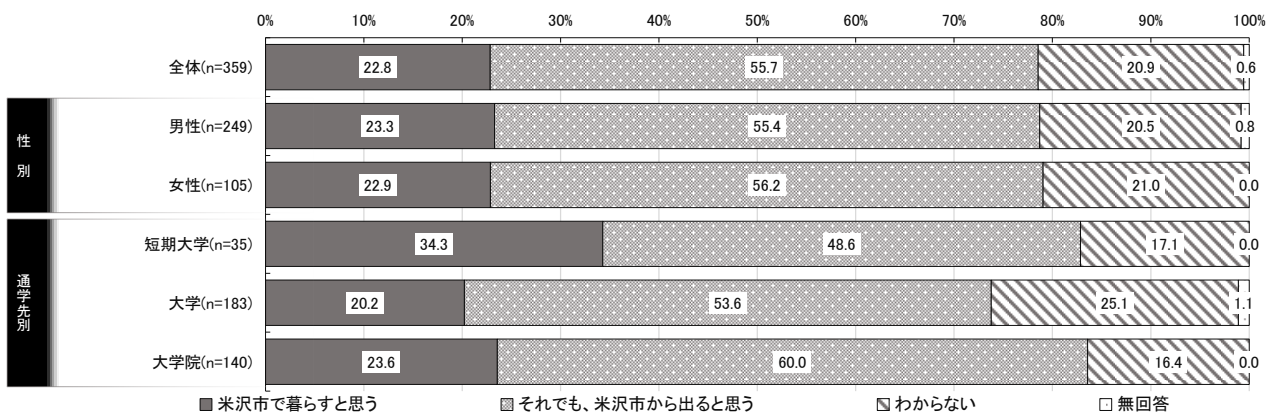
問4-1で「1.米沢市」以外を選択された方にお伺いします。
将来希望する就職先が米沢市にあれば、米沢市で暮らしますか。

希望する就職先があれば、米沢市で暮らすかについては、「それでも、米沢市から出ると思う」が55.7%と最も高く、次いで、「米沢市で暮らすと思う」(22.8%)、「わからない」(20.9%)の順となっています。



<属性による分析>

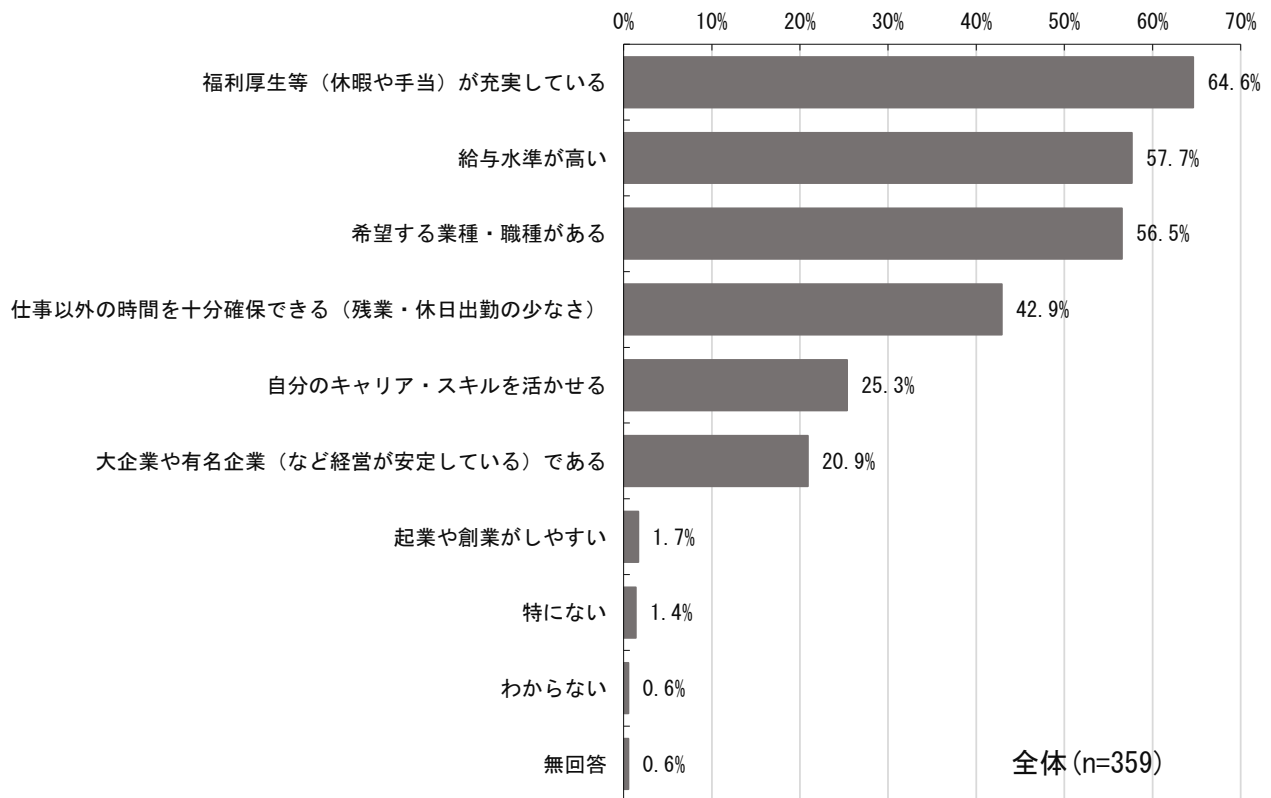
通学先別でみると、短期大学では他の通学先に比べ「米沢市で暮らすと思う」の割合が高くなっています。



問4-3

問4-1で「1.米沢市」以外を選択された方にお伺いします。
あなたが就労する場合に重視することは何ですか(3つまで○)

就労する場合に重視することについては、「福利厚生等(休暇や手当)が充実している」が64.6%と最も高く、次いで、「給与水準が高い」(57.7%)、「希望する業種・職種がある」(56.5%)となっています。



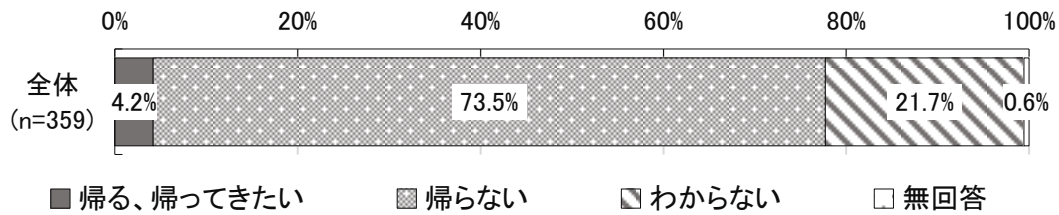
<属性による分析>

属性による大きな違いはみられませんでした。

問4-4

問4-1で「1.米沢市」以外を選択された方にお伺いします。
米沢市以外で暮らした場合、将来、米沢市に帰る考えはありますか。

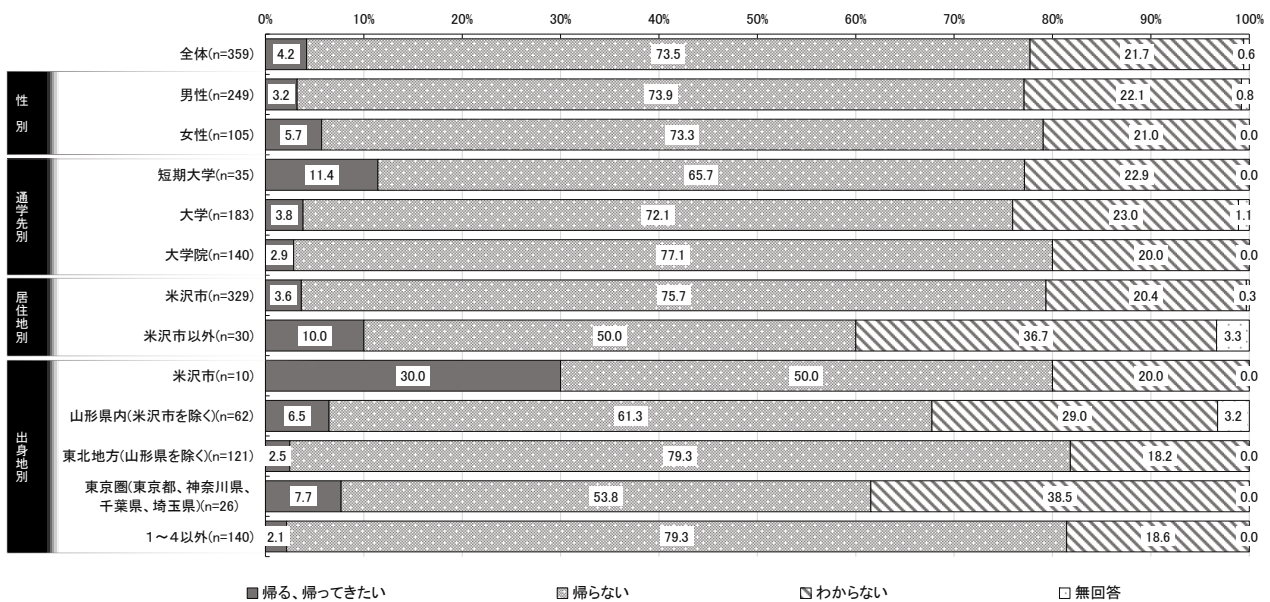
米沢市に帰る考えについては、「帰らない」が73.5%と最も高く、次いで、「わからない」(21.7%)、「帰る、帰ってきたい」(4.2%)の順となっています。



<属性による分析>

通学先別でみると、短期大学では他の通学先に比べ「帰る、帰ってきたい」の割合が若干高くなっています。

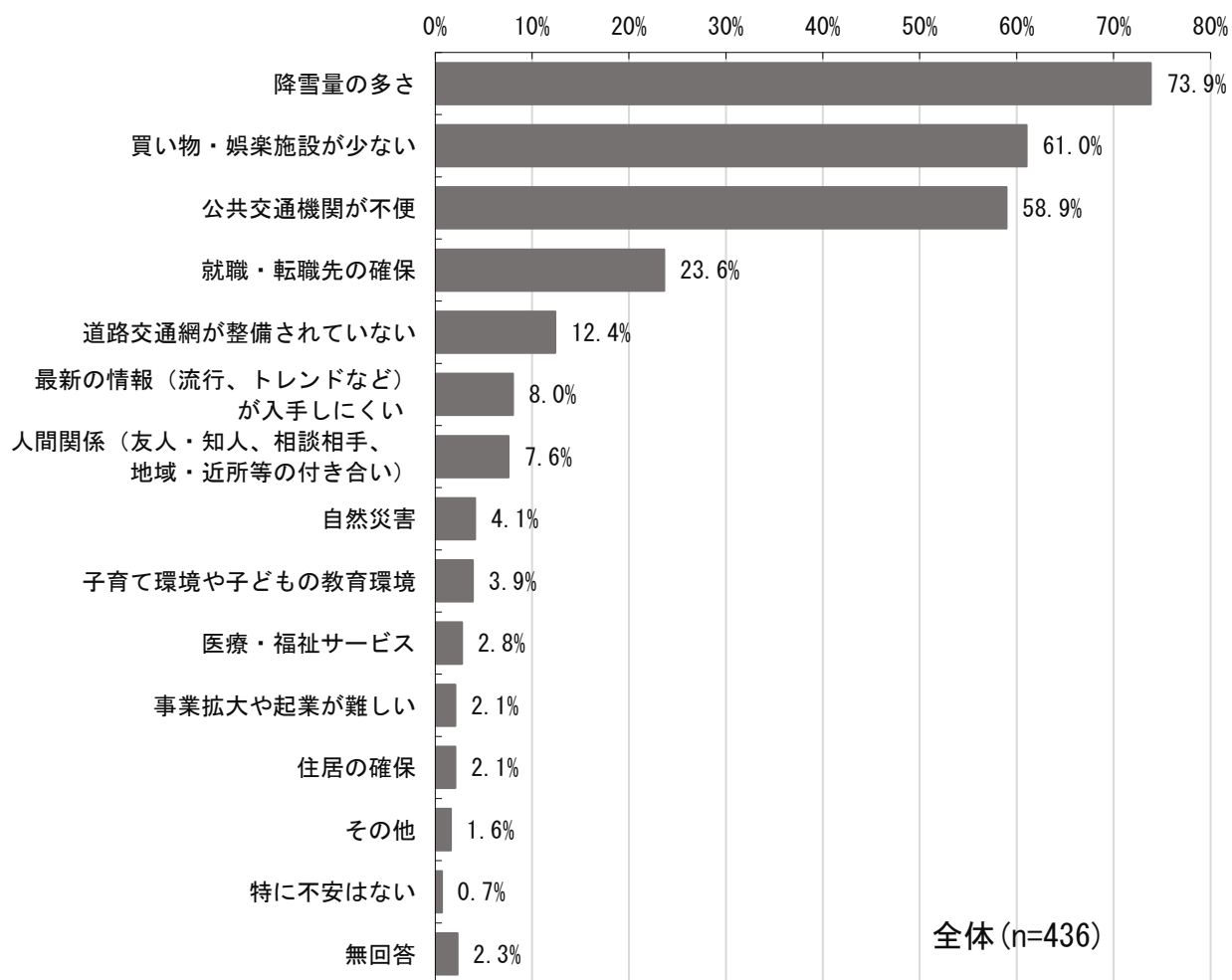
出身地別でみると、「米沢市」出身者は「帰る、帰ってきたい」の割合が3割ですが、それ以外の地域出身者は「帰る、帰ってきたい」の割合は1割以下となっています。



問5

米沢市で今後も暮らす場合、生活する環境で不安なことは何ですか。(3つまで○)

生活する環境で不安なことについては、「降雪量の多さ」が73.9%と最も高く、次いで、「買い物・娯楽施設が少ない」(61.0%)、「公共交通機関が不便」(58.9%)となっています。



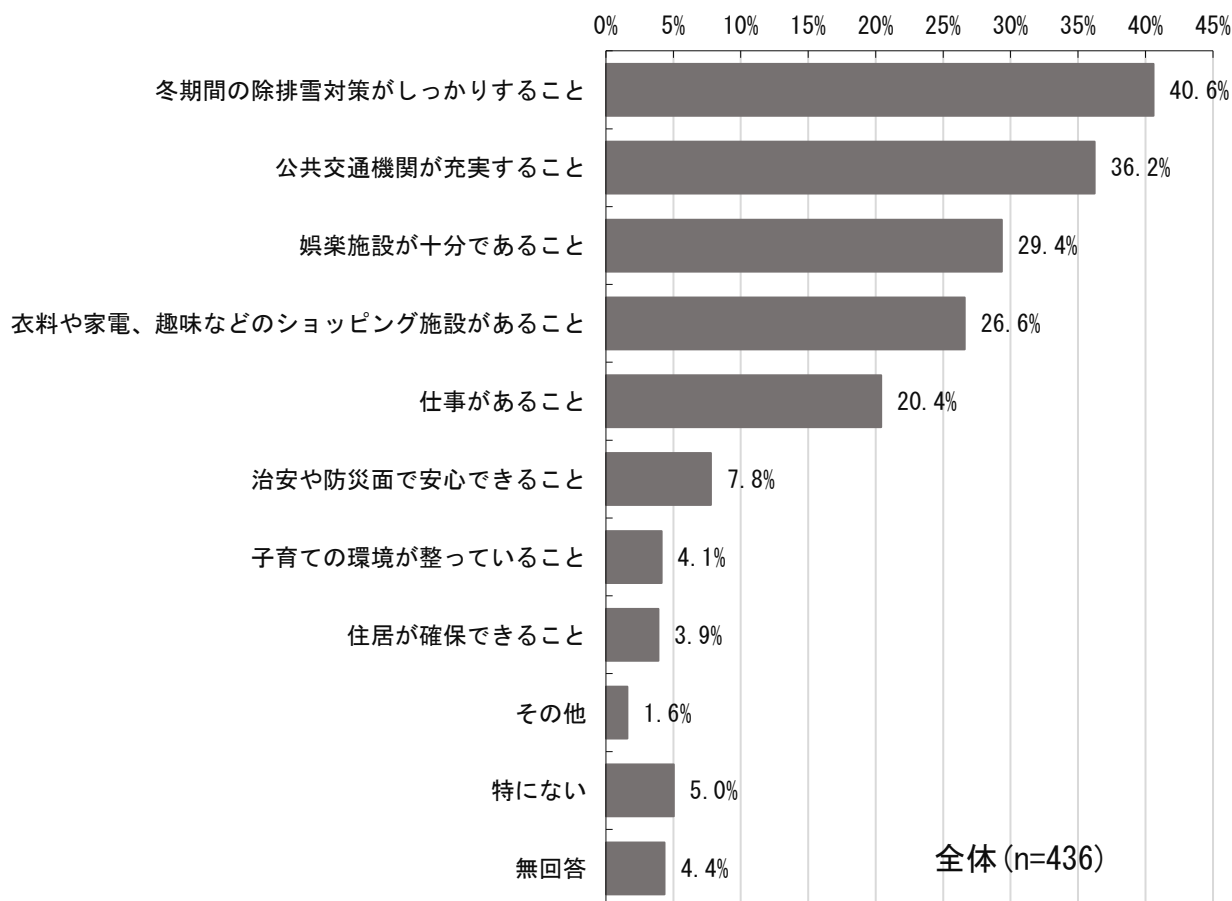
<属性による分析>

属性による大きな違いはみられませんでした。

問6

米沢市で今後も暮らす場合、生活する環境で期待することは何ですか。(2つまで○)

生活する環境で期待することについては、「冬期間の除排雪対策がしっかりすること」が40.6%と最も高く、次いで、「公共交通機関が充実すること」(36.2%)、「娯楽施設が十分であること」(29.4%)となっています。



<属性による分析>

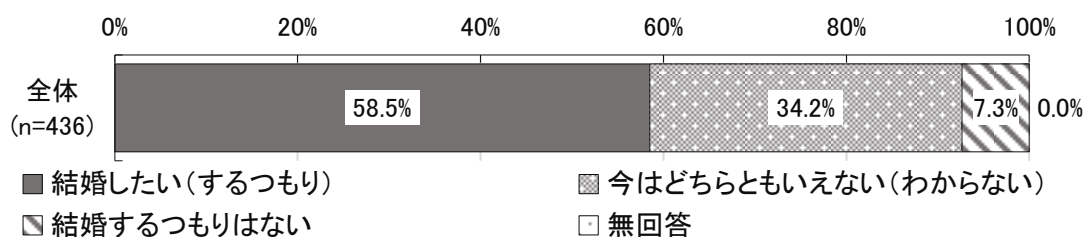
性別でみると、女性では「公共交通機関が充実すること」に期待する割合が最も高く、通学先別でも短期大学が『公共交通の充実』に期待しています。

		第1位	第2位	第3位
全体(n=436)		冬期間の除排雪対策がしっかりすること 40.6%	公共交通機関が充実すること 36.2%	娯楽施設が十分であること 29.4%
性別	男性(n=310)	冬期間の除排雪対策がしっかりすること 40.3%	公共交通機関が充実すること 33.2%	娯楽施設が十分であること 31.9%
	女性(n=119)	公共交通機関が充実すること 43.7%	冬期間の除排雪対策がしっかりすること 42.9%	衣料や家電、趣味などのショッピング施設があること 31.1%
通学先	短期大学(n=36)	公共交通機関が充実すること 44.4%	冬期間の除排雪対策がしっかりすること 33.3%	衣料や家電、趣味などのショッピング施設があること 27.8%
	大学(n=249)	冬期間の除排雪対策がしっかりすること 40.6%	公共交通機関が充実すること 34.9%	娯楽施設が十分であること 30.9%
	大学院(n=148)	冬期間の除排雪対策がしっかりすること 43.2%	公共交通機関が充実すること 35.8%	娯楽施設が十分であること 28.4%

問7

今後の結婚に関する希望をお聞かせください。

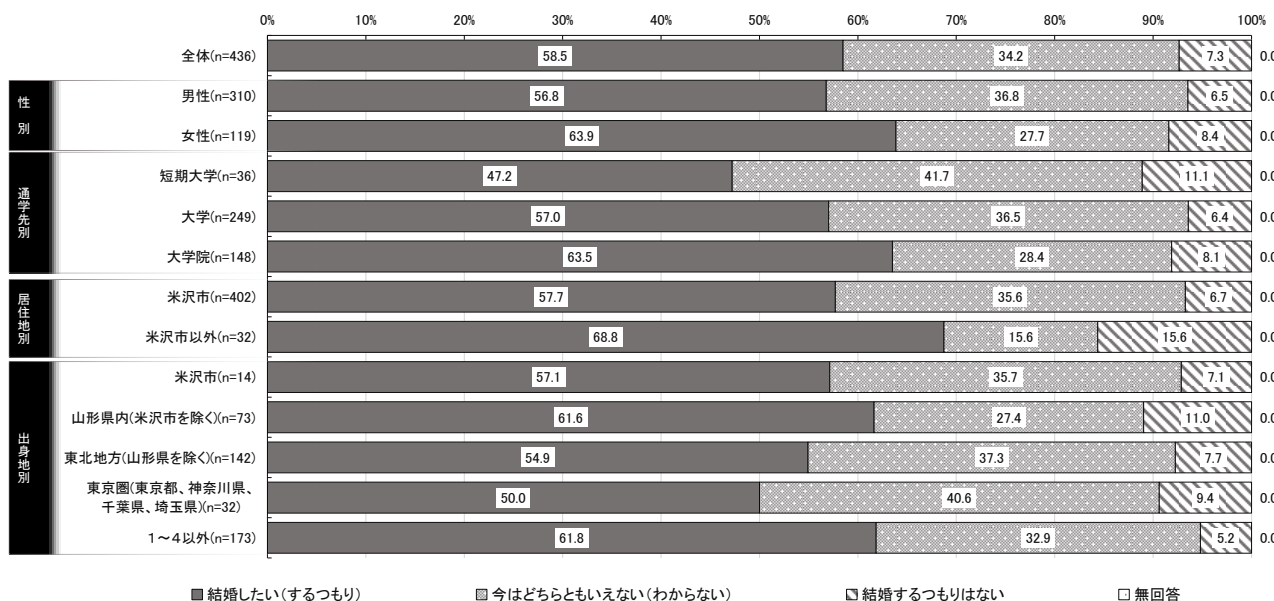
結婚に関する希望については、「結婚したい(するつもり)」が58.5%と最も高く、次いで、「今はどちらともいえない(わからない)」(34.2%)、「結婚するつもりはない」(7.3%)の順となっています。



<属性による分析>

通学先別でみると、短期大学では「結婚したい(するつもり)」が他の通学先に比べ割合が低くなっています。

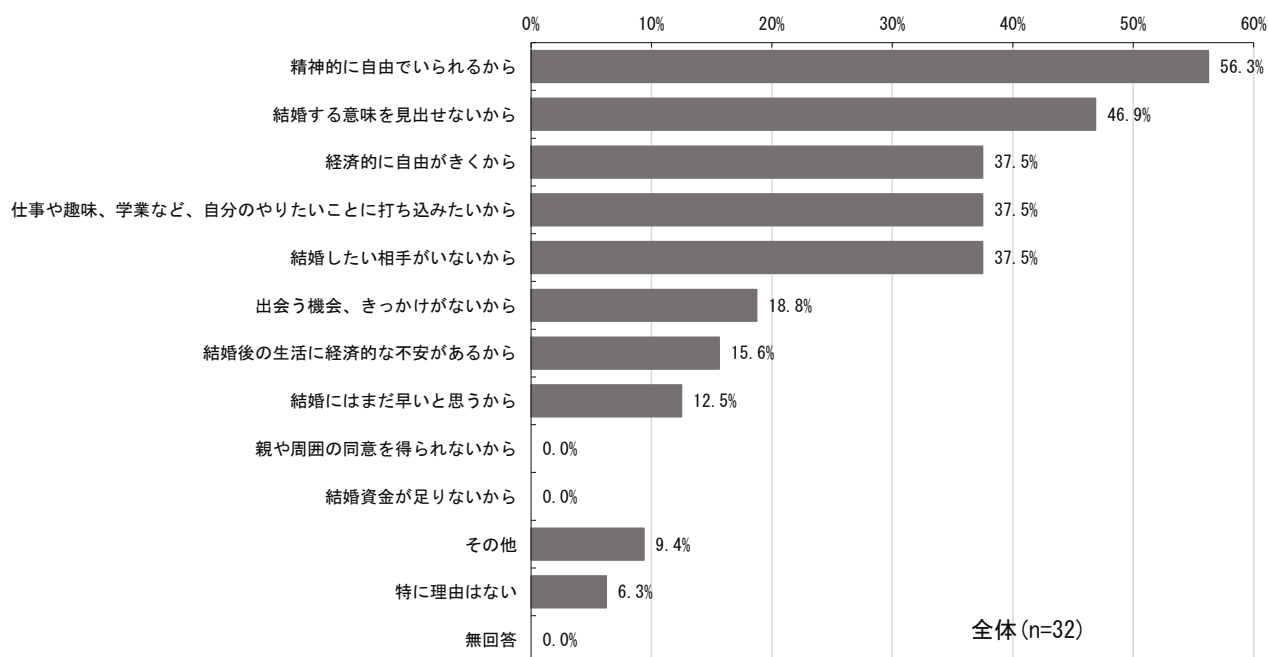
出身地別でみると、米沢市では「結婚したい(するつもり)」が山形県内(米沢市を除く)よりは低く、「今はどちらともいえない(わからない)」が高くなっています。



問8

問7で「1. 結婚したい(するつもり)」以外を選択された方
結婚するつもりはない理由をお聞かせください。(3つに○)

結婚するつもりがない理由については、「精神的に自由でいられるから」が 56.3%と最も高く、次いで、「結婚する意味を見出せないから」(46.9%)、「経済的に自由がきくから」と「仕事や趣味、学業など、自分のやりたいことに打ち込みたいから」と「結婚したい相手がいないから」(各々37.5%)となっています。



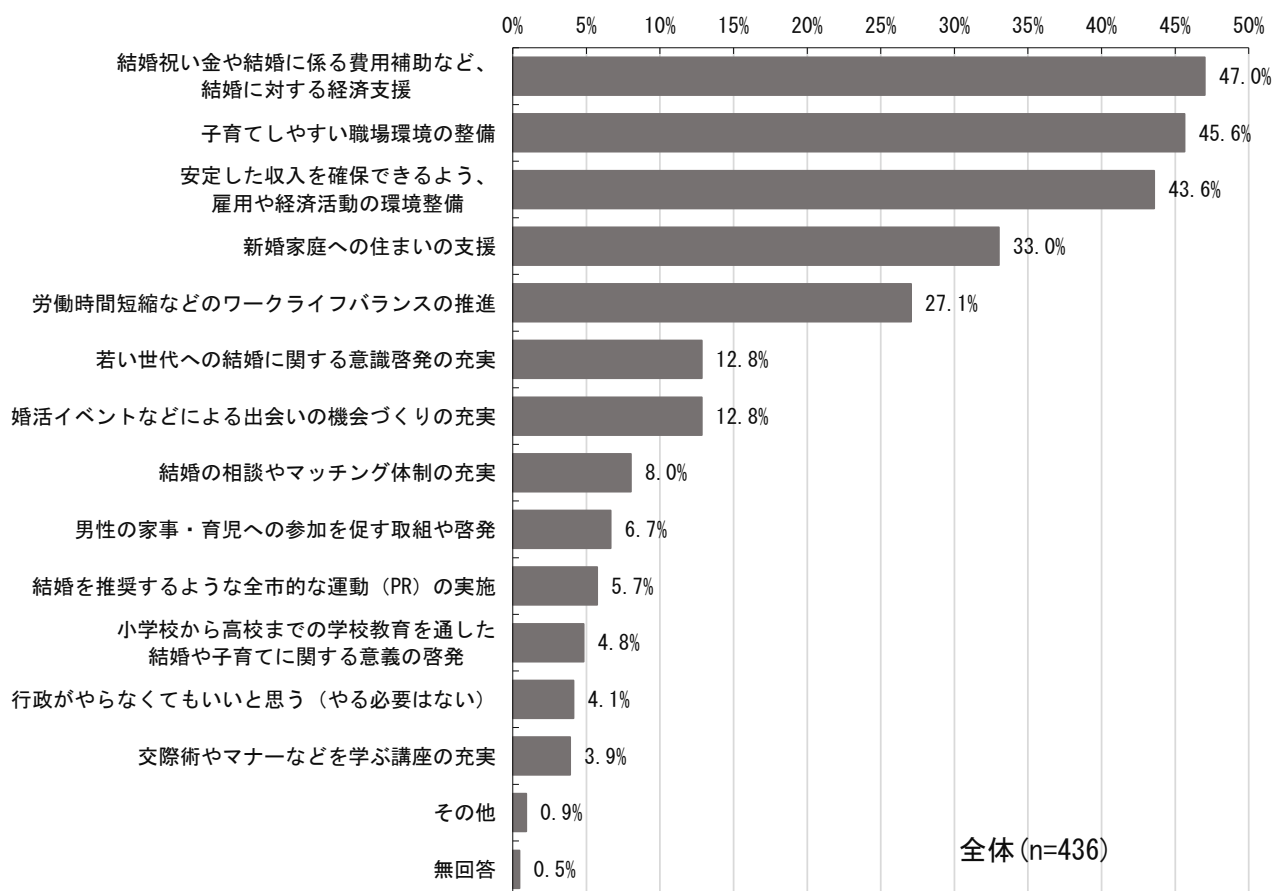
<属性による分析>

属性による大きな違いはみられませんでした。

問9

結婚を支援するために期待する取組はありますか。(主なものを3つまで○)

結婚を支援するために期待する取組については、「結婚祝い金や結婚に係る費用補助など、結婚に対する経済支援」が47.0%と最も高く、次いで、「子育てしやすい職場環境の整備」(45.6%)、「安定した収入を確保できるよう、雇用や経済活動の環境整備」(43.6%)となっています。



<属性による分析>

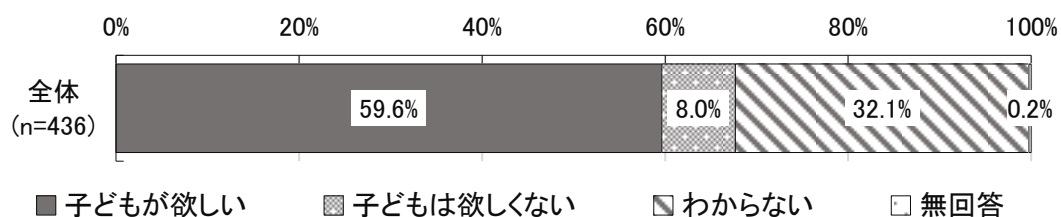
性別でみると、男性が『結婚に対する経済支援』に期待する割合が高く、女性は「子育てしやすい職場環境の整備」により期待しています。

通学先別でみると、短期大学では「子育てしやすい職場環境の整備」に期待しており、大学、大学院の学生は『結婚に対する経済支援』に期待が高くなっています。「労働時間短縮などのワークライフバランスの推進」が同率第2位となっています。

		第1位	第2位	第3位
全体(n=436)		結婚祝い金や結婚に係る費用補助など、結婚に対する経済支援 47.0%	子育てしやすい職場環境の整備 45.6%	安定した収入を確保できるよう、雇用や経済活動の環境整備 43.6%
性別	男性(n=310)	結婚祝い金や結婚に係る費用補助など、結婚に対する経済支援 46.1%	安定した収入を確保できるよう、雇用や経済活動の環境整備 43.5%	子育てしやすい職場環境の整備 39.0%
	女性(n=119)	子育てしやすい職場環境の整備 62.2%	結婚祝い金や結婚に係る費用補助など、結婚に対する経済支援 49.6%	安定した収入を確保できるよう、雇用や経済活動の環境整備 42.0%
通学先	短期大学(n=36)	子育てしやすい職場環境の整備 63.9%	安定した収入を確保できるよう、雇用や経済活動の環境整備／労働時間短縮などのワークライフバランスの推進 33.3%	
	大学(n=249)	結婚祝い金や結婚に係る費用補助など、結婚に対する経済支援 46.2%	子育てしやすい職場環境の整備 45.0%	安定した収入を確保できるよう、雇用や経済活動の環境整備 42.2%
	大学院(n=148)	結婚祝い金や結婚に係る費用補助など、結婚に対する経済支援 54.1%	安定した収入を確保できるよう、雇用や経済活動の環境整備 48.6%	子育てしやすい職場環境の整備 42.6%
居住地	米沢市(n=402)	結婚祝い金や結婚に係る費用補助など、結婚に対する経済支援／子育てしやすい職場環境の整備 47.0%	安定した収入を確保できるよう、雇用や経済活動の環境整備 42.8%	
	米沢市以外(n=32)	安定した収入を確保できるよう、雇用や経済活動の環境整備 53.1%	結婚祝い金や結婚に係る費用補助など、結婚に対する経済支援 50.0%	子育てしやすい職場環境の整備／新婚家庭への住まいの支援 28.1%

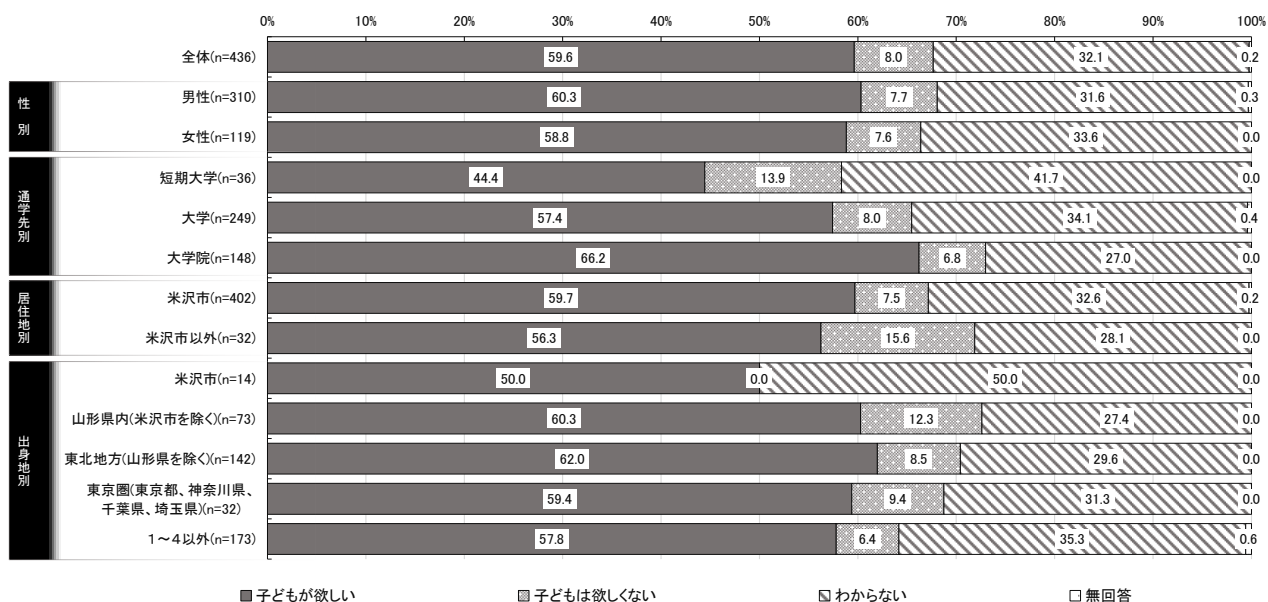
問 10-1 あなたは、将来、子どもが欲しいと考えていますか。

子どもについては、「子どもが欲しい」が 59.6%と最も高く、次いで、「わからない」(32.1%)、「子どもは欲しくない」(8.0%)の順となっています。



<属性による分析>

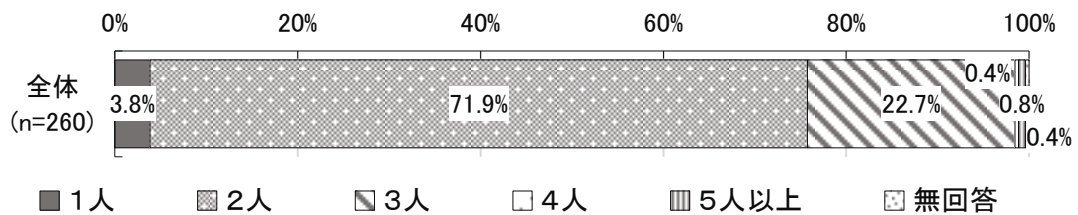
ほぼ全ての属性で「子どもが欲しい」が5割以上ですが、通学先が短期大学では4割強となっており、「子どもは欲しくない」が多少高くなっています。



問 10-2

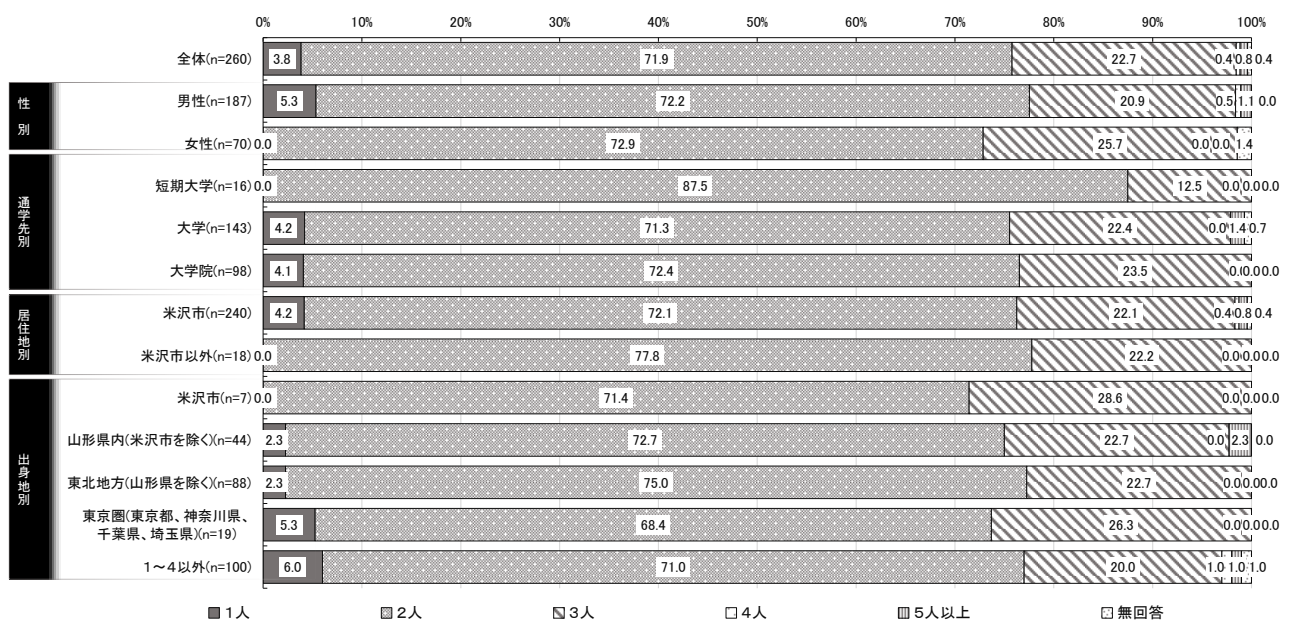
あなたにとって、理想的な子どもの人数は何人ですか。
(問 10-1 で「1.子どもが欲しい」と回答した方のみ)

理想的な子どもの人数については、「2人」が 71.9%と最も高く、次いで、「3人」(22.7%)、「1人」(3.8%)、「5人以上」(0.8%)、「4人」(0.4%)の順となっています。



<属性による分析>

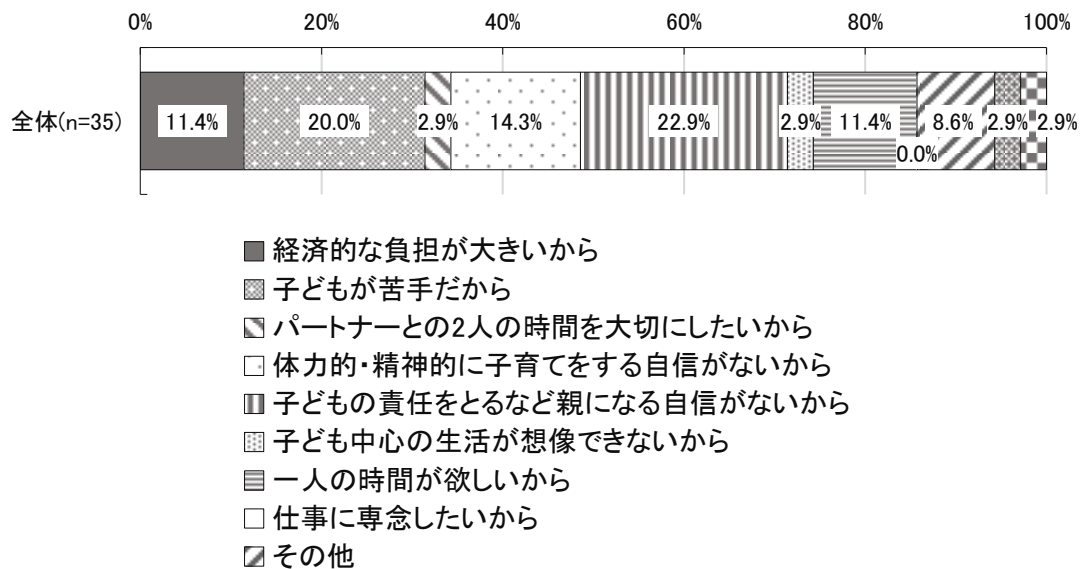
属性による『希望する子どもの人数』の差はありませんでした。



問 10-3

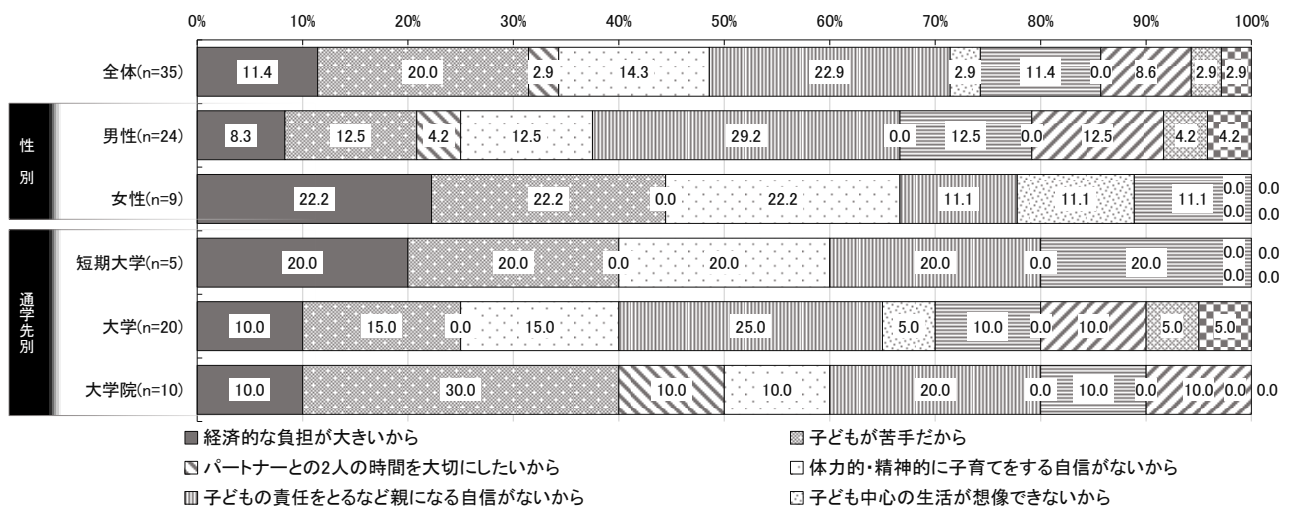
子どもが欲しくない理由は何ですか。
(問 10-1 で「2.子どもは欲しくない」と回答した方のみ)

子どもが欲しくない理由については、「子どもの責任をとるなど親になる自信がないから」が 22.9%と最も高く、次いで、「子どもが苦手だから」(20.0%)、「体力的・精神的に子育てをする自信がないから」(14.3%)となっています。



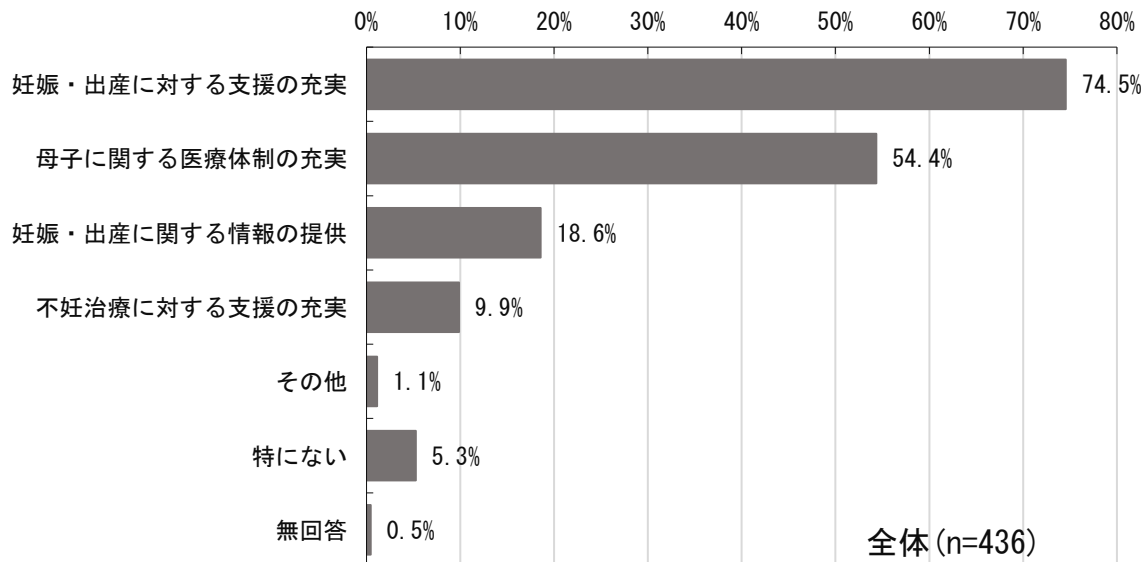
<属性による分析>

性別でみると、男性の方では「子どもの責任をとるなど親になる自信がないから」が女性より割合が高くなっています。



(1) 妊娠・出産の不安を解消する支援(2つまで○)

妊娠・出産の不安を解消する支援については、「妊娠・出産に対する支援の充実」が74.5%と最も高く、次いで、「母子に関する医療体制の充実」(54.4%)、「妊娠・出産に関する情報の提供」(18.6%)、「不妊治療に対する支援の充実」(9.9%)などの順となっています。

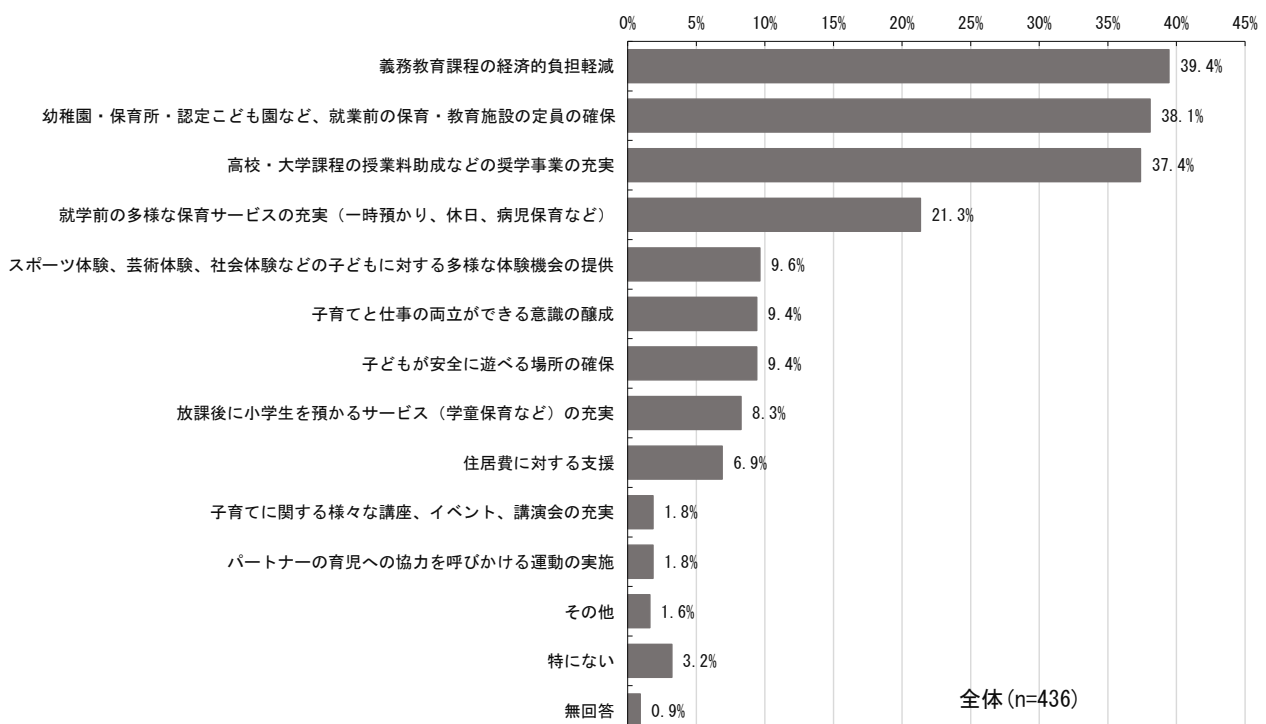


<属性による分析>

属性による大きな違いはみられませんでした。

(2) 子育てを応援する支援(2つまで○)

子育てを応援する支援については、「義務教育課程の経済的負担軽減」が39.4%と最も高く、次いで、「幼稚園・保育所・認定こども園など、就業前の保育・教育施設の定員の確保」(38.1%)、「高校・大学課程の授業料助成などの奨学事業の充実」(37.4%)となっています。



<属性による分析>

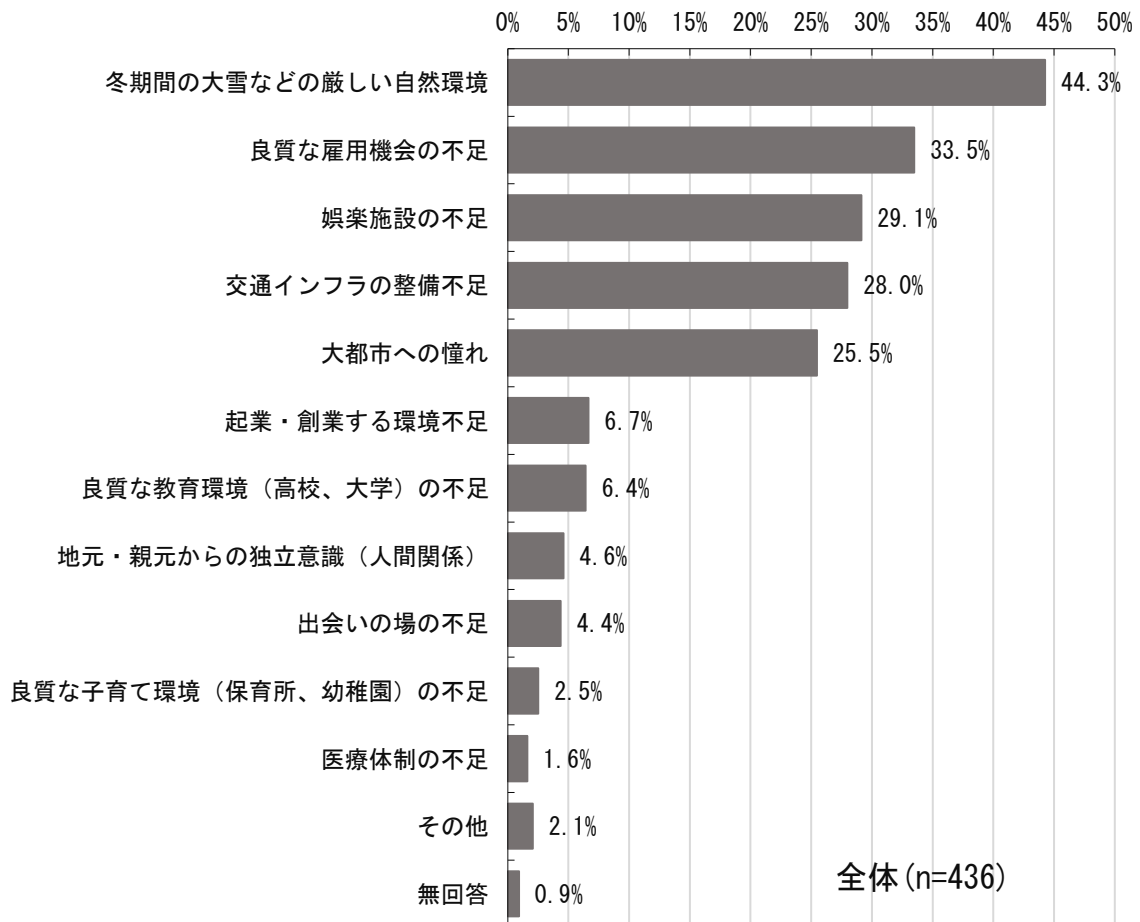
通学先別でみると、短期大学では「幼稚園・保育所・認定こども園など、就業前の保育・教育施設の定員の確保」に期待が高く、大学では「義務教育課程の経済的負担軽減」(39.8%)と「高校・大学課程の授業料助成などの奨学事業の充実」(39.4%)に期待する割合が高くなっています。

		第1位	第2位	第3位
全体(n=436)		義務教育課程の経済的負担軽減 39.4%	幼稚園・保育所・認定こども園など、就業前の保育・教育施設の定員の確保 38.1%	高校・大学課程の授業料助成などの奨学事業の充実 37.4%
性別	男性(n=310)	義務教育課程の経済的負担軽減 38.4%	高校・大学課程の授業料助成などの奨学事業の充実／幼稚園・保育所・認定こども園など、就業前の保育・教育施設の定員の確保 37.4%	
	女性(n=119)	義務教育課程の経済的負担軽減 41.2%	幼稚園・保育所・認定こども園など、就業前の保育・教育施設の定員の確保 40.3%	高校・大学課程の授業料助成などの奨学事業の充実 37.0%
通学先	短期大学(n=36)	幼稚園・保育所・認定こども園など、就業前の保育・教育施設の定員の確保 44.4%	義務教育課程の経済的負担軽減 36.1%	高校・大学課程の授業料助成などの奨学事業の充実 30.6%
	大学(n=249)	義務教育課程の経済的負担軽減 39.8%	高校・大学課程の授業料助成などの奨学事業の充実 39.4%	幼稚園・保育所・認定こども園など、就業前の保育・教育施設の定員の確保 35.3%
	大学院(n=148)	義務教育課程の経済的負担軽減／幼稚園・保育所・認定こども園など、就業前の保育・教育施設の定員の確保 40.5%		高校・大学課程の授業料助成などの奨学事業の充実 35.8%
居住地	米沢市(n=402)	義務教育課程の経済的負担軽減 39.1%	幼稚園・保育所・認定こども園など、就業前の保育・教育施設の定員の確保 38.1%	高校・大学課程の授業料助成などの奨学事業の充実 37.6%
	米沢市以外(n=32)	義務教育課程の経済的負担軽減 46.9%	幼稚園・保育所・認定こども園など、就業前の保育・教育施設の定員の確保 37.5%	高校・大学課程の授業料助成などの奨学事業の充実 34.4%
出身地	米沢市(n=14)	幼稚園・保育所・認定こども園など、就業前の保育・教育施設の定員の確保 50.0%	義務教育課程の経済的負担軽減／高校・大学課程の授業料助成などの奨学事業の充実 42.9%	
	山形県内(米沢市を除く)(n=73)	義務教育課程の経済的負担軽減 49.3%	高校・大学課程の授業料助成などの奨学事業の充実 41.1%	幼稚園・保育所・認定こども園など、就業前の保育・教育施設の定員の確保 31.5%
	東北地方(山形県を除く)(n=142)	幼稚園・保育所・認定こども園など、就業前の保育・教育施設の定員の確保 40.8%	義務教育課程の経済的負担軽減 38.7%	高校・大学課程の授業料助成などの奨学事業の充実 38.0%
	東京圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)(n=32)	幼稚園・保育所・認定こども園など、就業前の保育・教育施設の定員の確保 37.5%	高校・大学課程の授業料助成などの奨学事業の充実／就学前の多様な保育サービスの充実(一時預かり、休日、病児保育など) 34.4%	
	1～4以外(n=173)	義務教育課程の経済的負担軽減／幼稚園・保育所・認定こども園など、就業前の保育・教育施設の定員の確保 37.6%		高校・大学課程の授業料助成などの奨学事業の充実 35.3%

問 12

米沢市では平成 29 年度から令和3年度までの5年間で 1,323 人の転出超過による人口流出が発生しています。米沢市が抱える人口流出の原因は何だと考えますか。
(2つまで○)

人口流出の原因については、「冬期間の大雪などの厳しい自然環境」が 44.3%と最も高く、次いで、「良質な雇用機会の不足」(33.5%)、「娯楽施設の不足」(29.1%)となっています。



<属性による分析>

性別でみると、男女ともに『大雪などの自然環境』が人口流出の大きな原因と考える割合が高いですが、第2位は男性が「良質な雇用機会の不足」なのに対し、女性は「大都市への憧れ」となっています。

居住地別でみると、米沢市以外では、「交通インフラの整備不足」が第1位となっています。

出身地別でみると、米沢市出身者は「良質な雇用機会の不足」を原因と考える割合が高く「大雪などの厳しい自然環境」は他の出身地の方よりも人口減少の原因と捉えていない傾向があります。山形県内と東京圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)では「良質な雇用機会の不足」が第1位となっています。

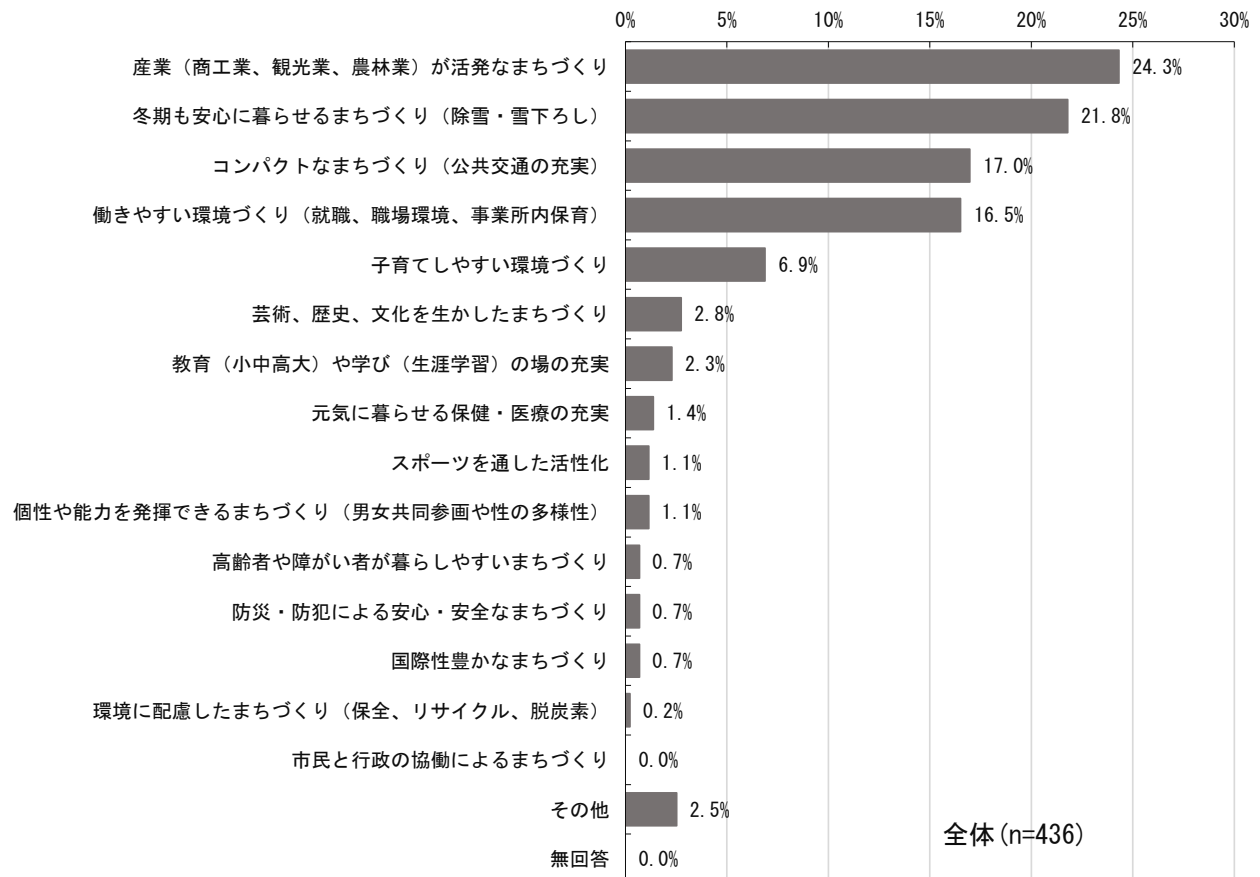
		第1位	第2位	第3位
全体(n=436)		冬期間の大雪などの厳しい自然環境 44.3%	良質な雇用機会の不足 33.5%	娯楽施設の不足 29.1%
性別	男性(n=310)	冬期間の大雪などの厳しい自然環境 42.6%	良質な雇用機会の不足 36.5%	娯楽施設の不足 30.0%
	女性(n=119)	冬期間の大雪などの厳しい自然環境 49.6%	大都市への憧れ 31.9%	交通インフラの整備不足 30.3%
通学先	短期大学(n=36)	冬期間の大雪などの厳しい自然環境 36.1%	交通インフラの整備不足／大都市への憧れ 33.3%	
	大学(n=249)	冬期間の大雪などの厳しい自然環境 43.0%	良質な雇用機会の不足 32.1%	娯楽施設の不足 30.9%
	大学院(n=148)	冬期間の大雪などの厳しい自然環境 49.3%	良質な雇用機会の不足 37.2%	大都市への憧れ 27.0%
居住地	米沢市(n=402)	冬期間の大雪などの厳しい自然環境 45.0%	良質な雇用機会の不足 33.3%	娯楽施設の不足 29.6%
	米沢市以外(n=32)	交通インフラの整備不足 40.6%	冬期間の大雪などの厳しい自然環境 37.5%	良質な雇用機会の不足 31.3%
出身地	米沢市(n=14)	良質な雇用機会の不足 42.9%	大都市への憧れ 35.7%	冬期間の大雪などの厳しい自然環境／良質な教育環境(高校、大学)の不足 28.6%
	山形県内(米沢市を除く)(n=73)	良質な雇用機会の不足 45.2%	冬期間の大雪などの厳しい自然環境 43.8%	娯楽施設の不足 24.7%
	東北地方(山形県を除く)(n=142)	冬期間の大雪などの厳しい自然環境 47.2%	娯楽施設の不足 33.8%	交通インフラの整備不足 31.0%
	東京圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)(n=32)	良質な雇用機会の不足 43.8%	冬期間の大雪などの厳しい自然環境 31.3%	大都市への憧れ 25.0%
	1～4以外(n=173)	冬期間の大雪などの厳しい自然環境 46.2%	娯楽施設の不足／交通インフラの整備不足 31.2%	

問 13

これからの米沢市が、もっと住みやすく、魅力的なまちとなるために必要な取り組みは何だと思いますか。（3つまで選び、該当する順位欄に番号を記入）

【1位】

米沢市が、もっと住みやすく、魅力的なまちとなるために必要な取組で1位として挙げられたものについては、「産業（商工業、観光業、農林業）が活発なまちづくり」が24.3%と最も高く、次いで、「冬期も安心して暮らせるまちづくり（除雪・雪下ろし）」（21.8%）、「コンパクトなまちづくり（公共交通の充実）」（17.0%）となっています。



<属性による分析>

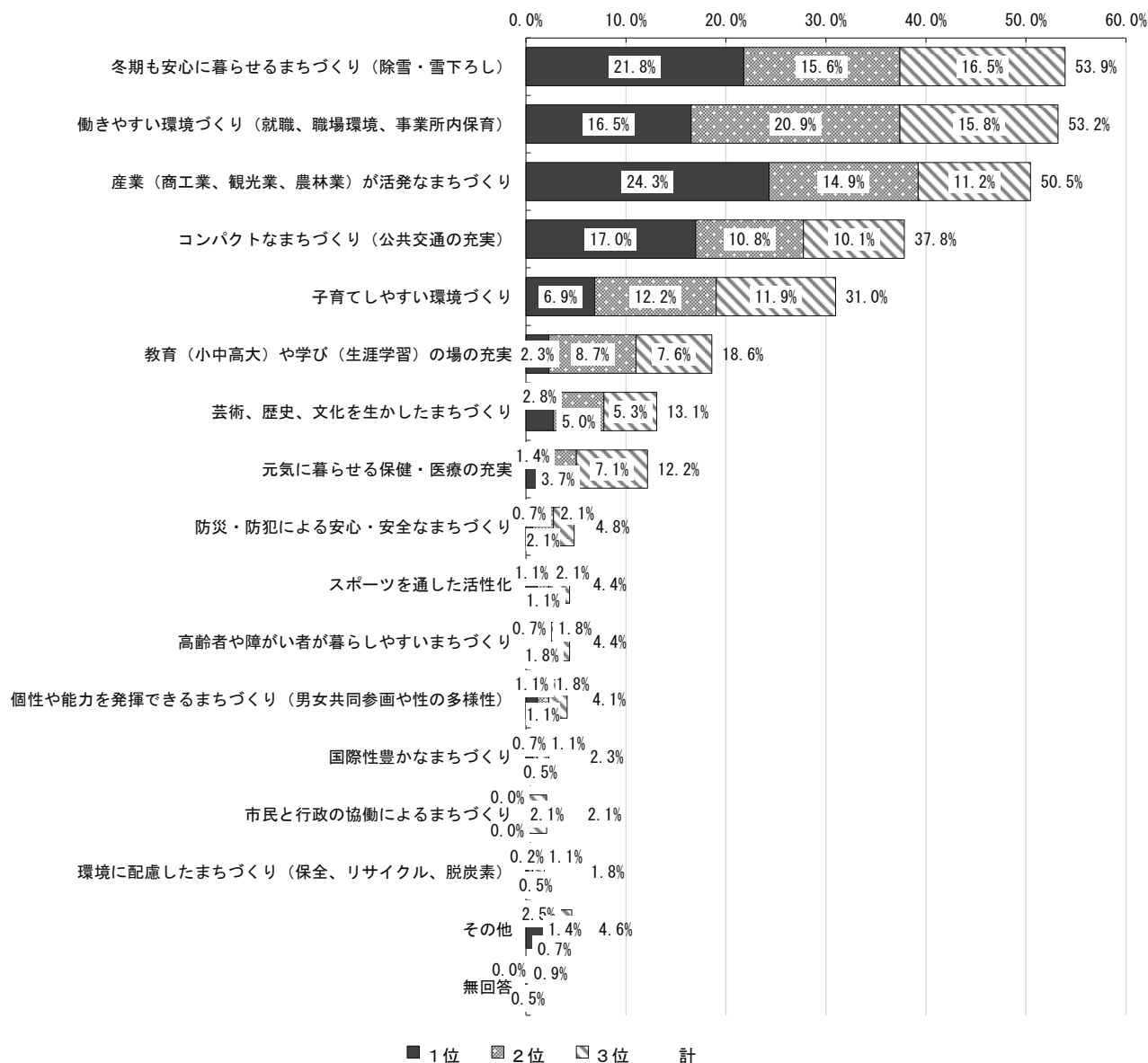
性別でみると、男性が『産業が活発なまち』と考える割合が高いのに対し、女性は『除雪・雪下ろし』と考える割合が高くなっています。

通学先別でみると、大学、大学院では『産業が活発なまち』ですが、短期大学では「働きやすい環境づくり(就職、職場環境、事業所内保育)」が第1位となっています。

		第1位	第2位	第3位
全体(n=436)		産業(商工業、観光業、農林業)が活発なまちづくり 24.3%	冬期も安心して暮らせるまちづくり(除雪・雪下ろし) 21.8%	コンパクトなまちづくり(公共交通の充実) 17.0%
性別	男性(n=310)	産業(商工業、観光業、農林業)が活発なまちづくり 25.8%	冬期も安心して暮らせるまちづくり(除雪・雪下ろし) 21.0%	コンパクトなまちづくり(公共交通の充実) 17.7%
	女性(n=119)	冬期も安心して暮らせるまちづくり(除雪・雪下ろし) 24.4%	産業(商工業、観光業、農林業)が活発なまちづくり 18.5%	働きやすい環境づくり(就職、職場環境、事業所内保育) 17.6%
通学先	短期大学(n=36)	働きやすい環境づくり(就職、職場環境、事業所内保育) 19.4%	子育てしやすい環境づくり 16.7%	産業(商工業、観光業、農林業)が活発なまちづくり 13.9%
	大学(n=249)	産業(商工業、観光業、農林業)が活発なまちづくり／冬期も安心して暮らせるまちづくり(除雪・雪下ろし) 25.7%	コンパクトなまちづくり(公共交通の充実) 16.1%	
	大学院(n=148)	産業(商工業、観光業、農林業)が活発なまちづくり 24.3%	働きやすい環境づくり(就職、職場環境、事業所内保育) 20.3%	コンパクトなまちづくり(公共交通の充実) 18.9%
居住地	米沢市(n=402)	産業(商工業、観光業、農林業)が活発なまちづくり 24.1%	冬期も安心して暮らせるまちづくり(除雪・雪下ろし) 22.4%	コンパクトなまちづくり(公共交通の充実) 17.4%
	米沢市以外(n=32)	産業(商工業、観光業、農林業)が活発なまちづくり／働きやすい環境づくり(就職、職場環境、事業所内保育) 25.0%	子育てしやすい環境づくり／冬期も安心して暮らせるまちづくり(除雪・雪下ろし) 15.6%	
出身地	米沢市(n=14)	産業(商工業、観光業、農林業)が活発なまちづくり／冬期も安心して暮らせるまちづくり(除雪・雪下ろし) 28.6%	働きやすい環境づくり(就職、職場環境、事業所内保育) 21.4%	
	山形県内(米沢市を除く)(n=73)	冬期も安心して暮らせるまちづくり(除雪・雪下ろし) 27.4%	産業(商工業、観光業、農林業)が活発なまちづくり／働きやすい環境づくり(就職、職場環境、事業所内保育) 20.5%	
	東北地方(山形県を除く)(n=142)	産業(商工業、観光業、農林業)が活発なまちづくり 23.9%	冬期も安心して暮らせるまちづくり(除雪・雪下ろし) 20.4%	コンパクトなまちづくり(公共交通の充実) 17.6%
	東京圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)(n=32)	働きやすい環境づくり(就職、職場環境、事業所内保育) 28.1%	産業(商工業、観光業、農林業)が活発なまちづくり 25.0%	コンパクトなまちづくり(公共交通の充実)／冬期も安心して暮らせるまちづくり(除雪・雪下ろし) 12.5%
	1～4以外(n=173)	産業(商工業、観光業、農林業)が活発なまちづくり 25.4%	冬期も安心して暮らせるまちづくり(除雪・雪下ろし) 22.0%	コンパクトなまちづくり(公共交通の充実) 21.4%

【1～3位合計】

米沢市が、もっと住みやすく、魅力的なまちとなるために必要な取組（1～3位）の合計については、「冬期も安心して暮らせるまちづくり（除雪・雪下ろし）」が 53.9%と最も高く、次いで、「働きやすい環境づくり（就職、職場環境、事業所内保育）」（53.2%）、「産業（商工業、観光業、農林業）が活発なまちづくり」（50.5%）となっています。



<属性による分析>

性別でみると、男性では「働きやすい環境づくり（就職、職場環境、事業所内保育）」が第1位ですが、女性は「冬期も安心に暮らせるまちづくり」が第1位となっています。

通学先別でみると、大学院が「働きやすい環境づくり（就職、職場環境、事業所内保育）」が第1位なのに対し、短期大学、大学では「冬期も安心に暮らせるまちづくり」となっています。

居住地別でみると、米沢市以外では、「働きやすい環境づくり（就職、職場環境、事業所内保育）」が第1位となっています。

		第1位	第2位	第3位
全体(n=436)		冬期も安心に暮らせるまちづくり(除雪・雪下ろし) 53.2%	働きやすい環境づくり(就職、職場環境、事業所内保育) 52.1%	産業(商工業、観光業、農林業)が活発なまちづくり 50.2%
性別	男性(n=310)	働きやすい環境づくり(就職、職場環境、事業所内保育) 52.3%	産業(商工業、観光業、農林業)が活発なまちづくり 51.9%	冬期も安心に暮らせるまちづくり(除雪・雪下ろし) 50.0%
	女性(n=119)	冬期も安心に暮らせるまちづくり(除雪・雪下ろし) 63.0%	働きやすい環境づくり(就職、職場環境、事業所内保育) 52.1%	産業(商工業、観光業、農林業)が活発なまちづくり 44.5%
通学先	短期大学(n=36)	冬期も安心に暮らせるまちづくり(除雪・雪下ろし) 50.0%	働きやすい環境づくり(就職、職場環境、事業所内保育) 47.2%	子育てしやすい環境づくり 44.4%
	大学(n=249)	冬期も安心に暮らせるまちづくり(除雪・雪下ろし) 55.0%	産業(商工業、観光業、農林業)が活発なまちづくり 53.4%	働きやすい環境づくり(就職、職場環境、事業所内保育) 48.2%
	大学院(n=148)	働きやすい環境づくり(就職、職場環境、事業所内保育) 59.5%	冬期も安心に暮らせるまちづくり(除雪・雪下ろし) 52.0%	産業(商工業、観光業、農林業)が活発なまちづくり 49.3%
居住地	米沢市(n=402)	冬期も安心に暮らせるまちづくり(除雪・雪下ろし) 54.2%	産業(商工業、観光業、農林業)が活発なまちづくり 51.2%	働きやすい環境づくり(就職、職場環境、事業所内保育) 50.7%
	米沢市以外(n=32)	働きやすい環境づくり(就職、職場環境、事業所内保育) 65.6%	冬期も安心に暮らせるまちづくり(除雪・雪下ろし) 43.8%	コンパクトなまちづくり(公共交通の充実)／産業(商工業、観光業、農林業)が活発なまちづくり／子育てしやすい環境づくり 37.5%
出身地	米沢市(n=14)	冬期も安心に暮らせるまちづくり(除雪・雪下ろし) 57.1%	産業(商工業、観光業、農林業)が活発なまちづくり／子育てしやすい環境づくり	50.0%
	山形県内(米沢市を除く)(n=73)	働きやすい環境づくり(就職、職場環境、事業所内保育) 54.8%	冬期も安心に暮らせるまちづくり(除雪・雪下ろし) 52.1%	産業(商工業、観光業、農林業)が活発なまちづくり 43.8%
	東北地方(山形県を除く)(n=142)	冬期も安心に暮らせるまちづくり(除雪・雪下ろし) 57.7%	働きやすい環境づくり(就職、職場環境、事業所内保育) 49.3%	産業(商工業、観光業、農林業)が活発なまちづくり 48.6%
	東京圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)(n=32)	働きやすい環境づくり(就職、職場環境、事業所内保育) 59.4%	産業(商工業、観光業、農林業)が活発なまちづくり 46.9%	冬期も安心に暮らせるまちづくり(除雪・雪下ろし) 43.8%
	1～4以外(n=173)	産業(商工業、観光業、農林業)が活発なまちづくり 54.9%	働きやすい環境づくり(就職、職場環境、事業所内保育) 53.2%	冬期も安心に暮らせるまちづくり(除雪・雪下ろし) 52.0%